

舗装をなおす！～闇夜に響く音とのたたかい編～夜間工事～

2018.01.10



こちらは、おかこくで実施中の舗装修繕工事の現場です。
舗装修繕って何のことか分かりますか？簡単にいうと「悪くなった道路の舗装をいったん取り壊して新しく舗装を敷き直すことです。」

このたび、倉敷市玉島爪崎の国道2号線でこの舗装修繕工事を実施しました。
国道2号線のうち、ここ倉敷市内は車の交通量が多いため、交通量が少なくなる夜間に工事を行っています。（片側交互通行）

舗装の取り壊しには

- ① バックホウなどの機器による舗装の剥ぎ取り
 - ② 作業員が手動で行うブレーカーによる作業
- が行われますが、いずれも大きな音や振動が発生してしまいます。



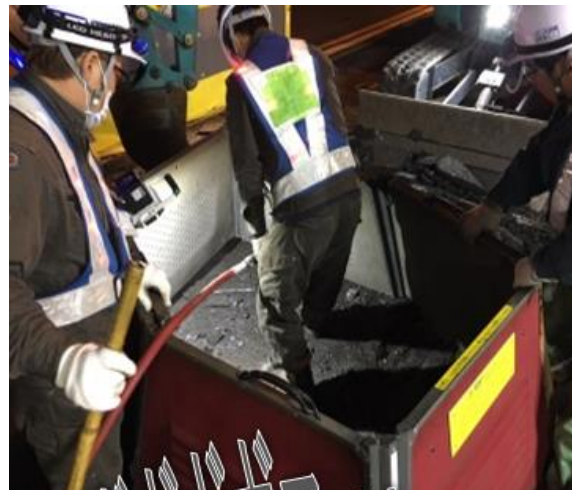
バックホウとは・・・機体側に手招きするように引き寄せる形のショベルで、地表面よりも下の土の掘削や舗装の取り壊し等に使う機械

ブレーカーとは・・・アスファルトやコンクリートを取り除く機械



こちらについて、なにも対策を行わないと音はそのまま付近の住宅地に届き、うるさいと感じたり、時には睡眠の妨げになるかもしれません。

そこで、今回の舗装修繕工事では、



近隣住民の方々に少しでも良い眠りについていただけるよう、上記のようなサイレンサー（打撃騒音を低減させるパネル）を使った「騒音軽減囲み作戦」を実施しました。

作業員数名が円陣を組み、協力しながら、少しずつ少しずつ場所を移動し、取り壊していくという根気のいる作業です。



取り壊しは、だいたい夜中の3時頃まで続けられ、その後、新しいアスファルトを敷き直し、朝の6時前には皆様が通行出来るように作業を終えます。そうした闇夜の作業を約2ヶ月かけて玉島地区の舗装工事を終えました。



あとはアスファルト敷くだけ



完成！！

その結果は・・・！？

ご協力頂いた地域住民の皆様ありがとうございました。
作業員の皆様、お疲れ様でした。

こうした舗装修繕工事計画は、岡山国道事務所「道路維持管理計画」に基づいて行われています。

記事作成：岡山国道事務所 ball island